



**長 崎 県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp  
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

## 同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

### 五島支部設立プレ例会「同友会を知る会」開催



3月26日、五島コンカナ王国にて「同友会を知る会」が、長崎から18名、現地から21名、合計39名で開催されました。大村支部長の宮田さんが「どん底から這い上がって～企業倒産を経験して～」というテーマで報告をされ、貴重なテーマ

の報告に対し参加者も熱心に耳を傾けていました。

「学んだこと、感じたこと」というテーマでのグループディスカッションでは、各グループ長が舵をとり現地の方の想いや考え方を巧みに吸い上げ、充実した意見が多数あげられました。

五島支部設立の意味や、例会の意味、また同友会そのものの意義をしっかりとお伝えし、あらためて深い学びの場となりました。例会後の懇親会の席で、参加された現地の方も同友会のあり方にご賛同いただき、中には入会を決意した方も複数名いらっしゃいました。景気低迷が続く今こそ、同友会での学びを自社の経営に生かすことの必要性、また五島の経済を担っていく経営者としての自覚と責任をあらためて感じていただき、「知る会」は幕を閉じました。

また今回、過去の現地協議会にご参加いただいた方や今回初めて参加となる方から多数のご紹介をいただきました。横のつながりが密接な五島の地ならではの特性を生かし、支部設立メンバーが増えることで五島支部の活性化と支部設立のスピードが増すと思います。

今後はこれらの出会いに感謝し、第2回のプレ例会などを企画、その後支部設立へとつなげていきたいと思っております。年度末のご多忙の中、ご参加いただいた会員、五島の皆様にあらためて感謝いたします。

#### 【現地の参加者の皆さん】

(合) 今利石油店：今利 紋治様  
オフィス今村：今村 安規子様  
(有) グリーンティ五島：尾田 竜也様  
五島自動車(株)：片山 實弘様  
(合) メディアウェブ：勝本 政裕様  
彩椿工房：清川 進一様  
(株) メモリード：境目 権二様  
ニク勝：田橋 且行様  
(有) 五島観光タクシー：辻 千穂子様  
NPO法人五島あすなろ会：土岐 寛志様  
(株) 五島新報新聞社：永治 克行様  
ベストプラス五島：野口 将克様  
五島第一ホテル：平岡 敬朗様  
平山住建：平山 兼人様  
(有) グラム：増山 勲次様  
フラワーショップ Miyamoto：宮本 眞佐子様  
社会福祉法人さゆり会：村中 康弘様  
(有) もり塗装工業：森 勝昭様  
柿森軽運送：山口 吉一様  
(株) セイハウ開発：横枕 圭作様  
吉田電機商会：吉田 幸子様

(文責：同友会事務局 峰圭太)

## 目次

|                             |    |                           |    |
|-----------------------------|----|---------------------------|----|
| 五島支部設立プレ例会「同友会を知る会」開催…      | 1  | コラム ……                    | 16 |
| 第43回中小企業問題全国研究集会 in Fukuoka |    | 県経営・労務担当委員会 2012年度活動報告書 … | 17 |
| 参加報告(2) ……                  | 2  | ダイヤモンドクラブ例会開催! ……         | 18 |
| 例会報告 ……                     | 7  | 会員活躍 ……                   | 18 |
| 第2回中同協社員教育委員会 参加報告 ……       | 13 | 5月例会案内 ……                 | 19 |
| 新入会員紹介 ……                   | 14 | 理事会報告・会員消息 ……             | 20 |

## 第8分科会

町工場の意識改革、「どう作る」から  
「何を創るか」へ

食品加工支援技術を軸に、農業ビジネスへも展開

宮崎同友会 代表理事 島原 俊英 氏

諫早支部 杉本誠二郎

会場ヒルトン福岡市シーホークに入場と同時に福岡同友会同友の拍手で向かい入れられ、気迫のこもった雰囲気緊張いたしました。

第8分科会報告者は宮崎同友会代表理事で株式会社日向鉄工所代表取締役の島原俊英氏。題として「町工場の意識改革、「どう作る」から「何を創るか」へ」

食品加工支援技術を軸に、農業ビジネスへも展開されています。大学卒業後、他の会社に勤めエジプトへ長く出張。エジプトで20名の日本人が1000人の現地従業員を使っていたそうです。1999年37歳の時にお父様の帰国催促で後継者として帰国。会社は赤字、2年間で会社立ち直らせなくてはならない事情でありました。エジプトで経験したことをバネにと想いがある反面、社員は職人気質で会社が潰れる寸前とは理解してなく当初は協力的ではなかったそうです。その頃、同友会に入会され会社内部での情報共有化、いろんな場面で社員と一緒にすることを学び、経営指針を勉強し、他社の会社訪問も社員を連れていったそうです。そしてまた、日報書き指示、整理整頓の徹底、社長自ら朝一番に整理整頓されました。伝わるのは言葉より社長の行動でした。

また島原さんは各社員の給料袋に思いを書いた手紙を忍ばせお渡ししているそうです。

2年後の4月に社員とで経営指針発表。下請けのお仕事为主で、食品工場向け機械製造で言われた通りの設計で製造して営業はしなくてよかったのがいままででしたが、景気が落ち込むと仕事が回ってこないのが現状でした。会社の社風を変えなくていけないと、奮起され、理念の写真と字幕のDVDを作成。そのDVDは、若手社員の経験で表現されていました。上司との意志の疎通が悪く、上司を信用できず、資格だけが頼りで結局、

大きな仕事の大切な納期前に機械の寸法の失敗が発覚。その時、お客様から信用を大きく無くす会社。皆、真剣な反省会時に直属の意志疎通が悪かった上司が私の責任ですと手を上げ、それをみていた方々も一気に手を上げられ、私の責任ですと皆が責任の取り合いになられたそうです。当の本人も皆との協力し合うということをその時に学び、皆が自覚した涙のDVDでした。理念がこんな形で表現出来ているのにととても感動しました。

今度は次回作は、社員自ら、映像を作られているそうです。

連携の大切さも話され、宮崎が牛の口蹄疫の被害が大きいとき人間も動くなとまで言われ、その時、本当の連携が見えたそうです。

日向市の駅前には綺麗なのに活気が無くマンション一階が空いている。地域活性で健康の為に、地元の方々とフィットネスクラブを作ったりもされています。

また、地域連携で4年間かけて農業工場も立ち上げられました。連携のつもりが最初は農家の方々には受け入れられず、農家の方に実際は野菜作りを一年は参加しなさいと言われ、時間ばかりが過ぎて行くジレンマ。

太陽光、水耕栽培、湿度、温度などの自動化の機械、システム開発の今までと違った分野に挑戦。進行が、段々と見えてくれば協力の輪が広がり資材仲間が増えていったとのことでした。やるべき事は明確にすれば繋がっていく。大きな事を描いて行く。社会が今何を望んでいるのか考えて行くと新しいビジネスが生まれると教えていただきました。

同友会の仲間で連携が繋がれば良いではないか。我々はそれぞれに機能を持っている。例えば、穴を開けるのにドリルを使う。しかし、本論は穴さえ開けばよいので、ドリルだけが穴を開ける手段ではないということ。課題が見つかればすぐに話し合う。質の良い野菜数が最初の予定は三千株だったのに五千株出来ている。評判が良い。

戦略を見据えて、しっかりとマーケットを見ていく。毎日の日報を社員は書き、書いた人の内容は責めず、書かない人を責めるという考え。会社とは会社にいる人が幸せになるための手段でしかないのである。

面白かったのは、新入社員確保のことで、工業系の高校生を採用してきても殆ど辞めていき、今では大学卒に絞り、説明会も来ていただけるが不安であったが人気があり、前は120名から4名採用されました。島原さんは内定したら一人一人毎月、本を差し上げ1年間は続けるとか、入社後、先輩を側につけてあげ悩みを気楽に話せるようにし、毎日アドバイスをするなどの努力をしておられます。先代の心、社是の信用・誠実・協力・共生を島原さんは大切にされておられる方でした。

我々のグループ討論では、同友会の方々の連携が大切だという言葉が飛び交いました。実際、広島の方々は670社所属のところで展示会を開催。100社が出展され、連携される会社が増えました。自社の特徴を知っていただき連携する。例として連携を試みている3社が同じパンフレッ

トを制作し、表紙だけ各自社表紙。中身は3分野に分かれていて、もし自社の商材が採用ならなくても、後の1社でも商材が採用されれば、営業された会社にマージンが発生する仕組みです。これはかなり幅が広がり良いと思いました。

長崎でも必ず実践できそうな予感がします。お客様は弊社が、色々な商材あるいは、施工を持つ幅の広い会社だと思ってもらえる訳です。同友会会員同士のメーカーとしての連携です。

最後に有意義な全研に行かせていただき、感謝申し上げます。福岡県同友会の方々の極め細かい接待の仕方、懇親会の盛り上げ方、料理の美味しさ豊富さ、焼き餅菓子のお土産まで自由に持って帰ってよいという心使いまで完璧で満足いたしました。そのまま、夜の博多に皆さん満足されたと思います。福岡の方々、本当にありがとうございました。

#### 第9分科会

##### 中小企業のアジアへの展開は成功するか

中国、ミャンマー・バングラデシュでの  
実践事例をもとに考える

岐阜同友会会員 中小企業家同友会アジア情報センター代表 小島 正憲 氏  
石川同友会会員 国際ビジネス研究会会員 木村 竹芳 氏  
京都同友会 副代表理事 野田 勝広 氏

大村支部 粕 穂隆

今回は初の全国研究集会の参加の機会をいただき、大変感謝しております。同じ大村支部から参加された諸先輩方にも大変お世話になり、改めて同友会の素晴らしさを実感いたしました。日頃から、大村支部の皆様には、何かと心がけて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

福岡での全国規模の分科会、通常よりも規模も大きくて、人数も多く、多少の戸惑いはありましたが、日頃から教えていただいている様に分科会の進行や討論も問題なく、体験できました。私が今回参加させていただいた分科会は、第9分科会で、中小企業のアジアへの展開は成功するか？というテーマで、小島衣料の小島代表、サンライズの木村社長、野田屋の野田社長と3名の方の報告を聞き大変刺激になりました。中国・ベトナム・韓国は経験しておりましたが、自分が知らない他の国の事情などを聞き、大変参考になり、今後に結び付けて行けそうな情報をたくさん入手出来ま

した。

グループ討論でも、私のグループは、大変凄いい方ばかりで、発言のひとつひとつが大変参考になりました。現在、私は長崎県の観光や物産の海外での展開や事業のお手伝いで動いておりますので、すぐにでも役に立つ情報を得る事が出来ました。

テーマの中小企業のアジアへの展開は成功するか？は、まさに私自身が現在、チャレンジしている事ですので、更にモチベーションが上がる思いでした。いろんな企業が海外での展開を行っており、その中でなかなか中小企業家同友会の輪が繋がっていない部分も感じられました。せっかくのネットワークがもっと有効に各企業間の情報のやり取りにつながれば、もっとアジアの展開が協力出来る事もたくさんある様に感じています。その為にも自分自身がまずは、少しでも海外での展開を形にしてもっとアピール出来るように実績をつくって行ければと強く感じました。

分科会のテーマに沿って討論と言うよりも関係の輪がもっとつながれば、より確かな実績を残せる中小企業が増えて行く様に感じられました。この経験を活かして、所属する大村支部がもっと盛り上がって行けるように、まずは私自身から頑張っていく事が、お世話になっている諸先輩への恩返しになると感じた今回の研究集会でした。とても実りのある気づきの多い機会になり大変感謝しております。

## 第10分科会

### 北海道食材をいかしたオンリーワン戦略

#### 二代目経営者の決断

北海道同友会 副代表理事・札幌支部長 **藤井 幸一 氏**

大村支部 出口 美智代

報告者 藤井幸一氏の「北海道産食材をいかしたオンリーワン戦略、二代目経営者の決断」の第10分科会に参加させていただきました。

その内容は、2007年に全国を騒がせた、あのミートホープの食肉偽装事件でした。それは、被害者！偽装した食肉とは知らず使用し加工、それを販売したことにより信頼を失いスーパーからの商品撤去。私もそうですが、お客様との信頼関係はとても大切な事、藤井氏のその時の心情を思

うととても人ごととは思えません。「いつ被害者になるか」そしてもし被害者となってもお客様に正直に話せる勇気が出せるか、それを藤井氏は社員の止めることを聞かず、自ら記者会見をされたのです。そして正直にすべてを話されました。それは大きな勇気であったでしょう。従業員何百人と会社の存続がかかっているのですから。

その会見は、藤井氏にとって良い結果となりました。その勇気と正直なことで、大きな信頼ができたのです。私は思いました。勇気、正直であることが大切なことです。そして藤井氏の話をお聴こうと各地から来られて皆さん同じ気持ちになられたことでしょう。

初参加でとても良い話と良い経験、沢山の方々とのお話も出来き、本当にありがとうございました。

## 第11分科会

### 中小建設業界の動向と活路

元請から重宝がられる“強み”を発揮しながら、次代を展望

千葉同友会 代表理事 **山本 克己 氏**

長崎支部 浦上地区会 中村 勝志

社会資本や個人住宅の市場は、果たして一巡したのか？もしかして、信用不安に基づく金融機関の貸出しが不十分なのか？はたまた、業界が抱える特異な体質なのか？

地域の建設不況は、複合的要因が重なりあってのものなのかも知れません。

長崎同友会でも学んだ経営の外部環境分析「機会」と「脅威」による観点から、自社の現状を客観的に把握しつつ、今後の展開を報告して下さったのは、千葉県同友会代表理事、「株式会社ストラスク」代表取締役 山本克己氏でした。

まず、下請業者のメリットとデメリットについては、「営業がいない。」が「価格決定権がない。」上、「小規模工事は、煩雑な業務で非効率的である」こと。

受注の偏重は、元請の信頼を得ることである程度の業績は安定するが、単価の下落や技術者や技能者の人材不足に対応するには、厳しい現実に向き合ってしまう。

つまり、「独自の付加価値をどう付けるか？」「人

材育成を如何に進めるか？」

これは中小建設業界のみならず、中小企業全体の経営課題と感じます。

さて、これに対して山本社長の取組みとは…

- ・下請けであっても自立した企業となるための条件を整えること。「協力的社会」を立ち上げ、一括受注からトータル管理で持ち味を発揮すること。
- ・エンドユーザーと向き合える営業専門チームを結成し、新卒の定期採用と女性の積極活用、海外への進出などに果敢にチャレンジして、「下請け体質」からの脱皮を図っていらっしゃいます。

一昨年岡山全研で学んだ「新卒の定期採用は企業の年輪となる」は、ここでも生きています。そのために社員と共に考え抜いて、作成した「経営計画」の大事さは、グループの参加者から共感の対象とされました。

私にとって、「顧客は誰なのか？技術とは何か？品質とは何なのか？」

この全研に参加して、自らの諸課題を見直し自問自答する羽目となりましたが、最後に山本社長から教わった「先が見えない社会だからこそ、おもしろい。」との言葉が、ももち浜にそよぐ春を伝える風のように感じた次第です。ありがとうございました。

## 第12分科会

### 地域一番店をつくる

社員が育つ環境をつくり、生きがい、  
やりがいの持てる経営をめざす

広島同友会 県理事（経営労働委員長） 岡崎 磊造 氏

長崎支部 出島地区会 大崎 悠史

福岡ヒルトン福岡シーホークでの第43回全研第12分科会に参加させていただきました。報告者は有限会社おか半の代表岡崎社長で熱い発表でした。地域一番店をめざすという内容でした。店舗は広島県安芸郡にあり、和食を中心としたお店で法事、祝事、亡年新年会、葬儀弁当、仕出し料理、パーティの請け合いで主力のお客様は地域のファミリー、団体サークル中年の女性グループでおいしくてなおかつこだわりのある料理を食べたいという客層をターゲットにしている。

基本理念は「しあわせづくり、味づくり」のほかに顧客満足、社員満足、社会への貢献が細かく掲げられている。

経営ビジョンとしては平成30年、理念に基づいて、広島市東部地区ナンバーワンの「職と生活の提案者」になる。

「利益とは、全員の知恵の総和」を実践し売上高10億円経常利益8000万円を目指す。その為に

1. 全員のコミュニケーション能力を磨く。
2. おか半ブランド化を図る。

3. 全員が経営社員となる。  
と明確な考えが全社員にいきわたっている。  
事業領域として「食と生活の提案者」

1. 食を通じた人と人とのふれあい  
コミュニケーションの場作りとお客様と私たちのコミュニケーションで感動を演出する。
2. おいしさと生産者のこだわりを、商品と情報を以って消費者に届ける。
3. 社内コミュニケーションレベルをとことん引き上げどこにもないブランド商品をつくる。  
と規定している。働いている現場の社員にわかりやすいのが特徴だ。

また、戦略的中期経営計画シートによると3年後のグループ売上高を5億円として。既存事業の成長と共に、同友会の経営指針の手引きにもあるように第二の創業として、食品、食材の小売・通販事業の立ち上げを計画し、その為に人材育成の考えがしっかりと根底にある。

SWOT分析もしっかりと実践されている。報告をお聴きして、素直に感じたのは、きちんとした経営指針を作成し、それを基にPDCAをまわしていけば、わが社も地域一番店になれると確信した。

ここで最も重要なのは、PDCAがしっかりと回るためにチェッカーが重要であると感じた。

最後に、当社も第二の創業を企画実践する。その為に、新たなドメインを作り明確な数字での経営計画作りが必要だと感じた。

## 第13分科会

### ビンテージビルがまちを変える！ 夢あるリノベーションによる企業成長

理念＋戦略＋メンバー＝  
企業の社会的使命＋新たな建物文化

福岡同友会  
NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会委員長 吉原 勝己 氏

長崎支部 浦上地区会 吉澤 健

見学分科会を選んだのは、タイトルが気持ちよく伝わったからです。同友会の学びから生まれたりリノベーションによる企業成長はなぜできたのか。バスは20分で上川端町の冷泉荘に到着。レトロな建物を改修して再生事業に取り組む吉原勝己さんは、都心の古いビルを残して失われていくコミュニティを保とうとする活動を続けています。

老朽化が進み空室が増え、家賃滞納者が居座るなど、スラム化寸前だった五階建てアパートは生まれ変わりました。内装や補修は住む人の感覚次第で敷金はなし、入居希望者は詩人、画家、フォトグラファー、デザイナー、レンタルサイクル、洋裁教室、ヨガ、アクセサリ、多彩な人々が集まり、個性的な部屋が集まり老朽化したビルは、文化を発信する基地になっていました。吉原住宅はビンテージビル文化の創出による街づくり企業へと進化し成長を続けています。

#### 【学んだこと】

※中小企業のオンリーワン創造のポイント

- ①お客が本質的に望むものを常に意識する。
- ②本質的ニーズを満たすために常識にとらわれない。
- ③自分達が面白いと思うことを目指す。
- ④どうやって知ってもらうか伝え方が重要。

## 【学びを実践する】

永続する企業は、顧客にとって付加価値をいかに創造するが重要である。その実践においては本質的な問題を捉え、解決のために十分なストーリーを考えなければならない。また実現に向けては、理念、方針、計画を組織全体で共有しベクトルを合わせ組織的に取り組み、長期的視点での差

### 第14分科会

#### 社員も社長も会社も成長していく IT見えるか？経営

失敗を検証し学ぶことで人は成長する  
(全ての経営情報を公開)

福岡同友会 西支部役員 鐘川 喜久治 氏

佐世保支部 山領 進

分科会は第14の移動分科会に参加しました。

株鐘川製作所鐘川氏は、会社の財務諸表の公開から、果ては社長の日々のスケジュールまで…。ここまで「見える化」が出来るものなのか？と疑問に思うほど会社をオープンにしておられました。また、それは長い努力の積み重ねであるということもよく分かりました。

現在のような厳しい商環境が続く中では、会社が存続し発展していけるかどうかは、社員のヤル気が欠かせない条件となります。社員のヤル気の根底にあるのは、経営者がいかに社員から信頼をされるかどうかということだと思えます。報告者の鐘川さんは経営情報を徹底的に公開することで、絶大な信頼を得ておられました。

記念講演の「株式会社ふくや」川原氏の話で最も印象的だったこと。それは川原氏の父である創業者の先代社長が、試行錯誤と大変な努力で作った明太子のレシピを、一切独り占めせず、誰にでも教えたことです。実際に製造特許を取得し

別化を目指さなければならないと再認識出来ました。三年目を迎えた不離一体活動は、少しではありますが進化していくように感じています。しかし、社員とともに成長する企業づくりは取り組みができておりません。2013年度は、この真の同友会活動に向けて始動したいと思っています。以上参加報告とさせていただきます。

てはどうかという話もあったようですが、そういう話には見向きもされなかったそうです。しかし、その事が後に多くの博多明太子のメーカーが誕生し、全国的に有名になることに繋がり、そして現在の巨大な市場規模の礎となったそうです。最近の言葉で言えば「シェアする」ことにより生まれた驚くべき功績だと思います。

また、もうひとつ感銘を受けたことは「社員が自ら学ぶ環境を作ることは、経営者のつとめである」という話です。ふくやでは仕事に直接関係のない資格取得というような事にも奨励金を出されているそうです。“何かをやったという証を持たせる”ことが大切という考えで、それを実施されています。また他方では、地域のボランティア(例えばPTAや町内会等)に参加することにも奨励金を出すそうです。“地域の人と触れ合うこともない会社人間になるな”という考えだそうです。会社の収益の使い途が、まさに地域貢献に使われている素晴らしい事例だと思いました。



## 長崎支部 浦上地区会 例会報告

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 日 時   | 3月26日(火) 午後6時30分      |
| 会 場   | ギャラリーヘキサ              |
| テ ー マ | 「守破離」～石橋をたたかなくても渡ります～ |
| 報 告 者 | 外尾冷菓 代表者<br>小坂 元一 会員  |



3月例会は、外尾冷菓三代目である小坂元一さんに報告していただきました。

チリンチリンアイス三代目ということと、テーマの「守破離」とは何だろうと思い、興味深く話を聴かせていただきました。

高校卒業後、住宅メーカーに入社し三年経った頃、ふと自分がサラリーマンに向かないことに気づき突然退社。

その後、フリーマーケットで衣料とアクセサリーの商売を開始、韓国、中国、アジアなどで仕入れ、日本で販売を開始、その後長崎駅新築にあたり、アミュプラザにアクセサリーと雑貨の店を出店。ふとしたきっかけでチリンチリンアイス外尾冷菓の跡目話が舞い込み、迷いに迷った末に不思議な縁を感じ、引き受けたそうです。

チリンチリンアイスは歴史が古く、今は一代目と二代目は生存しておらず、まったく経験のない中で、古くから仕事をしているおばちゃんに教わりながらスタートされ、大変苦労されたそうです。持ち前のバイタリティーと努力で事業を展開され、今では学校や幼稚園のイベントなど、いろいろな所に出店しているそうです。

また福岡など他県にも拡大し、東京原宿にも出店、さらに中国やアジアにも出店計画を考えておられ、幅広く活躍されています。

今回のテーマ「守破離」について語られ、武士道の精神を表している言葉で、この言葉に出会って深く感銘を受け、その後の生き方に大きな影響を受けたそうです。

私なりの理解ですが、「伝統の精神を守りながら、旧来の枠にとらわれず、時代に即応した新しい技を生み発展させていく」との深い意味があると思いました。

グループディスカッションでは、何ごとも前向きに挑戦される姿に皆さん感銘を受けておられ、有意義な例会となりました。

(文責 飛田政光)

## 長崎支部 出島地区会 例会報告

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 日 時   | 3月27日(水) 午後6時30分                    |
| 会 場   | サンプリエール                             |
| テ ー マ | 同友会との出会い<br>～スタッフやお客様とのあり方を考えさせられて～ |
| 報 告 者 | トータルオフィス 代表者<br>中原 一也 会員            |



今回の報告者はトータルオフィス 代表者 中原 一也さんです。中原さんは事務代行業を営んでおられます。当初、皆さんもどのような業務内容の会社なのかかわからず、興味をもっておられましたが、内容は主に6つ、入金チェック業務、請求書発行業務、口座振替依頼業務、業者支払業務、給与計算業務、経理事務代行業務です。また、プログラマーの経験とエクセル・アクセスの知識を活かし、これらの業務データを連動させて独自の経理データを作り、それを独自のプログラムで営業データに変換させることができるそうです。これにより、営業会議資料等の作成をして会議に参加し、会議資料説明から現状分析などのクライアント企業のパートナー的業務をされています。

経歴も多彩で税理士事務所に6年半、ソフト開発会社に2年半、経理の専門学校講師で3年、金

融機関の信用保証業務に1年半と現在の仕事に関連する仕事に携わり今があるそうです。ただ、企業家としてはまだまだ難題も多く、今回の報告も自身の学びと捉え報告いただきました。

テーブルディスカッションでは、自社の経営課題は何ですか？というテーマで皆さんにさまざまな経営課題を出していただき、労使問題から新卒採用、などなど討議していただきました。これは例会の最後にアンケートという形で、書いていただいてその内容を来期の報告のテーマにしていきます。

そして報告の中で、中原さんの経営課題でもある「社員を雇用してみたが、うまく生かすことができず断念したこと」とか、同友会活動の中で経営指針が必要だということに気づかされたことを話されましたので、座長のまとめの中で、去る、3月2日・3日で県の経営指針策定セミナーのことを話しました。そのセミナーの話の中で、「会社には3つのタイプの人があります。」という話がありました。どんなタイプの人かということ「技術者」と「管理者」と「事業者」だそうです。「技術者」は今を見ている人（現在の数字など）「管理者」は過去を見る人（業務マニュアル作りとか技術者が出した数値の管理）「事業者」は未来を見る人（計画を作る人）だそうです。

因みに、この3者は非常に仲が悪いそうです。皆さんもご自分の会社で思い当たる点がございませうでしょうか？

そのときの経営指針策定セミナーでは経営指針のことをわかりやすく説明いただく際に人が完全に迷子になる3条件というのを教えていただきました。この3つの条件が揃うと人は完全に迷子になるそうです。



- ①自分が今どこにいるのかわからない＝社長の夢や想い・理念・現状確認・立ち位置
- ②どこにいけばいいのかわからない＝経営方針
- ③どうやっていけばいいのかわからない＝経営計画

もし、社員がこのような迷子の状態であれば、会社は上手く前に進んで行けません。

このような状態を回避するツールのひとつが経営指針書です。社長の思いを的確に社員に伝えるには経営指針書作りが最適であると確信しました。ただひとつ勘違いしてはいけないのは、経営指針書はツールであり、道具です。使う人の考え方、使い方によって、効果が全然違います。その効果が、絶大になるような勉強ができる場所が同友会です。皆さん！自社の経営指針書を作ってみましょう。

テーブルディスカッションでは、自社の経営課題は何ですか？というテーマで皆さんにさまざまな経営課題を出していただき、労使問題から新卒採用、など討議していただきました。これは例会の最後にアンケートという形で、書いていただいてその内容を来期の報告のテーマにいきます。

(文責 中村貢一)

## 諫早支部 例会報告

|       |                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 日 時   | 3月21日(木) 午後7時                                             |
| 会 場   | 諫早観光ホテル 道具屋                                               |
| テ マ   | 今からでも遅くない！「フェイスブック」と「ツイッター」を理解する<br>～フェイスブック、ツイッターの現状と弊害～ |
| 報 告 者 | (有) PCサポート長崎 専務取締役<br>小濱 新一 会員(大村支部)                      |

今回は最近利用者が増えているフェイスブックとツイッターの違いや弊害について大村支部会員でもある(有)ピーシーサポート長崎 小濱さんに報告していただきました。

2つの違いや弊害のみならず成功例の紹介や実践もして頂く予定でしたが、50分という短い時間でしたので全ては出来ませんでした。やや消化不良気味に終わった事を残念に思いますし無理をお願いした小濱さんにも申し訳なく思います。機会があれば是非第2弾もしたいと思いますし、この機会に定期的に勉強会をするのもいいかなと思います。

例会に参加した会員には既にフェイスブックを利用している方も多く居られましたが、反面全く利用していない方も約半数程居られました。フェイスブックやツイッターの違いや普段何気なく利



用している時の使用上の注意点や弊害について初心者向けに報告をしていただいたので、技術的な使い方等の講習を期待した方には少しもの足りなかった方も居られたかも知れません。報告を聞いた会員からは「怖くて手を出したくない」という方も居られたが「今まで利用してなかったが商売に使えるならこれから始めてみたい」等の声もあり関心は高くなったと思います。

当方もフェイスブックは利用して居りますがあまりコメントを載せていませんし、ましてや商売には全く結びつけていなかったのですが、友人の中には商売に上手く利用している方も多くおり営業上のアイテムの一つになっていますので今後当方も上手に活用していければと思います。

今回オブザーバーで参加いただいた方も多かったので同友会を理解していただき入会を期待したいと思います。

(文責 村山和幸)

## 佐世保支部 例会報告

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 日 時   | 3月22日(金) 午後7時                  |
| 会 場   | 佐世保市民会館 会議室                    |
| テ ー マ | 「これからのコミュニケーションの考え方」           |
| 報 告 者 | i SOLUTION JAPAN 代表<br>八並 学 会員 |



3月例会は、通信情報処理業 i SOLUTION JAPAN 八並学さんの報告でした。

実家は果樹園農家。農家といっても壊れた農業機械の修理やちょっとした建物の手当て等、何でも器用にこなす家に育っておられるようで、そういう家風が現在の仕事の沿革になったと話しておられました。

大卒後大手の地元ディーラーに就職され、トップセールスとして活躍されていましたが、営業絶

頂期に何故か退職。少しのブランクを経て事務機のメーカーに入社。8年間勤務後独立されています。独立後はマイクロソフトの関連会社として、主に東京にある会社と東南アジア・シンガポール等の支店・工場などの「見える化」に取り組み、現地と東京を行ったり来たりという生活をされていました。

今でもIT関連の仕事については、やはり大都市圏の会社との取引が殆どとの事でした。

さて、現在具体的にはどういう仕事をされているのか・・・。

例えば、共有しなければならない情報があり、社内で書類を回覧しているうちに誰かのデスクでストップしてしまい周知できなくなった…という事が起きていないか？或いはお客様からの仕事の問い合わせに対し「担当者が居ないから分かりません」と応えていないか？

いずれもよくある話なのですが、八並さんは、このような事を事前に解決できるような情報共有化のシステムづくりをしているとの事。つまりは困っている事を解決し、より働きやすく、お客様にも親切的な職場の環境を再構築するのです。

グループディスカッションに於いては、メールを禁止し、社内での報告やお客様への連絡は必ず直接口頭であることを義務付け、敢えてアナログ

に徹しているという意見も飛び出しました。何でもかんでもデジタル化、というような風潮に対し、直接肉声で伝える事の大切さを強調する貴重な意見だと思います。

結論としては、働きやすく管理面でも有効な経営環境をデジタルに整えつつ、人と人とのお付き合いの中から生まれるアナログな交流とを相互にミックスさせながら、より良い環境をつくっていくことが大切であるということでした。

(文責 山領 進)



## 大村支部 例会報告

|       |                                         |
|-------|-----------------------------------------|
| 日 時   | 3月21日(木) 午後6時30分                        |
| 会 場   | 長崎インターナショナルホテル                          |
| テ ー マ | 会社に変革は必要か？<br>～日本で唯一のカトリック専門総合葬儀社として～   |
| 報 告 者 | (有) 栄光式典社 専務取締役<br>西村 浩文 氏 (長崎同友会 専務理事) |



今回の例会は、長崎同友会専務理事で(有)栄光式典社専務の西村浩文さんに報告いただきました。

西村さんは「会社に変革は必要か？～日本で唯一のカトリック専門総合葬儀社として～」をテーマに先代による創業から現在に至るまでの苦労や今後の展望について語ってくださいました。(有)栄光式典社は、カトリック専門の葬儀社で、先代である西村さんのお父様が設立しました。自分はもちろん、社員・パート全員がカトリック信者の会社で、安心感がある強み。元々は木工業を営んでおり、今でも利益を上げる為ではなく、営業やきっかけ作りとして教会やご家族からの依頼で祭壇や木工品を製作しておられます。

今、葬儀業界は変革期を迎えており、市場の拡大に伴う異業種からの参入や、終活・家族葬といった葬儀形式も多様化しており、西村さんは、仏教家族葬、ギフト・飲食業への進出、ホームページの活用などといった新しい葬儀の発想を従業員とも共有し、がんばっておられます。また、同友会に入会して学ぶ内に、自社の経営方針や社風に疑問を抱き、変えようとした結果、ベテラン社員が



退職するという苦い経験をしたことも語られました。

グループディスカッションでは「同じ後継者として、苦労がわかる。私は自社の先代、先々代が作ってきた気質は変えてはいけないと思っている」「日本で唯一の会社でありながら、変革の意識を持ち続けておられるのはすごい」といった感想が出されました。先代が30年かけて築き上げた信頼と実績を守りつつ、新しいことにも挑戦していく姿勢に、共感された会員さんも多かったのではないのでしょうか。

今回は新入会員のバッジ贈呈がありました。新入会員また参加者全員にとっても「経営者」について新たな気づきが見つかり、素晴らしい例会になりました。

(文責 谷 信一郎)

## 島原支部 例会報告

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 日 時   | 3月23日(土) 午後1時30分                       |
| 会 場   | (資) 若竹屋酒造場                             |
| 報 告 者 | (資) 若竹屋酒造場 社長<br>林田 浩暢 氏 (福岡同友会 副代表理事) |

今回は島原支部設立以来、初となる移動例会を開催いたしました。島原を離れ、外から我が支部を見つめ直すと同時に、頑張っておられる他県会員の会社訪問と話をお聞きしようということで、今回田主丸の若竹屋酒造場を訪問しました。

林田さんには2年前の県フォーラムで分科会の報告者としてご参加いただきましたが、このご縁で今回の移動例会の訪問先として決定したわけがあります。

丁度私達が訪問した3月23日は春の蔵めぐりの初日であったため、見物のお客さんでいっぱいでした。お酒を試飲する人、商品を買求める人。まさに田主丸のひとつの風物詩になっているかのような感じさえました。そうした忙しい中、林田さんに工場内を案内していただきながら、酒造りについてのお話を伺いました。そのとき驚いたのが、酒を仕込む際、杜氏さんや会社の方以外に若い人や、外国人さんまでお手伝いに来られると

いうことをお聞きしました。さらに「室」と呼ばれる、蒸したお米に麹菌をかける一番大事なところでも外国人さんに手伝ってもらっていると聞いてさらに驚いた次第です。

林田さんの人間の大きさを改めて実感しました。当日も男女4名の外国人さんのうち、女性のひとりが和服姿で、また他の方たちはそれぞれ法被姿で、試飲コーナーに来られたお客様を流暢な日本語でお相手されるなど他の蔵めぐりと違って、国際的であり、また日本酒のおいしさを外国の方に教えてもらうという、真逆の光景が非常に印象に残りました。その後、ワイナリーへ移動し、貯蔵庫を見学させていただいたわけですが、昨年7月に起きた九州北部豪雨によりこの葡萄畑もかなりの被害に遭われたとのことで、山の斜面には今なおその時の傷跡が残っていました。

貯蔵庫の中はひんやりし、数えきれないほどのビンに詰められた葡萄酒がほこりを被って寝かされていました。生きたお酒を製造し、管理する仕事は本当に気の抜けない仕事だなと参加者一同感心した次第です。その後は福岡に移動し、メンバーの知りあいの居酒屋さんでおいしい料理とお酒をいただき、博多の夜を満喫したのであります。

(文責 三田茂樹)

## 北松浦支部 例会報告

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 日 時   | 3月21日(木) 午後7時               |
| 会 場   | サンパーク吉井                     |
| テ ー マ | 道徳と経済の一体思想                  |
| 報 告 者 | 野田ミート(株) 代表取締役会長<br>野田 好秋 氏 |



今回は報告者として野田ミート(株) 会長 野田好秋氏を迎えてご教授をしていただきました。いろんな経営者また経営の仕方はあれども、野田会長はモラロジー研究所理事としても活躍してお

られ、同友会で勉強しない独自の品性を求めるバランスシートの切り口から報告をいただきました。

野田会長は、私利私欲の経営で金もうけの道具として社員や奥様までも使われた時期を経て、3店舗目でダイキョウプラザに出店し、杉一郎社長と出会い、モラロジー研究所講習を勧められるままに受講し、命を授かり生かされている自分に気づかされ“社会の公器である会社を社員の安心・幸福実現のための人格形成の道場にする”と決意したそうです。税務調査の折もモラロジー費用が



多く利益に直接結びつかない費用は認めないとの指導にも、モラロジーがあるからこそ安心して経営ができ、基盤ができると信念を通したそうです。また社員が自ら会社の父だからと会長の誕生日を「生誕祭」として祝ってくれるそうです。それがきっかけで、社員の誕生日とその両親の誕生日は有給休暇を与え親孝行を実践してほしいとの思いから実施されているそうです。レポート提出の義務付けで、提出してくれたら1000円の報酬ですが親孝行レポートを買わせていただくというスタンスで実施しています。

社会の公器である会社が納税することで国は潤うと考え、まずは「納税の経営」を提唱し、納税プラス経費積み上げを基盤に粗利益割る利益率で



売り上げ目標を設定し経営計画書を策定するそうです。

鏡張りの経営で社員さんも安心して働いて、こうした仕組みづくりが大切と言

われています。また品格のある人に地位を与えて、仕事ができる人に報酬を与える事と野田会長は言われています。会社と同様に人生のバランスシートは重要で恩に報いて借りを返す、野田会長の提唱ですが、自社に置き換えてもなるほど必要不可欠であることを実感しました。

(文責 池野晋一)

## 青年経営者会 例会報告

|     |              |
|-----|--------------|
| 日 時 | 3月20日(水)     |
| 会 場 | 長崎ペンギン水族館    |
| 内 容 | ペンギンとのふれあい大会 |



3月は恒例の「春一番ハタ上げ大会」を20日(春分の日)に唐八景にて開催予定でありました。

本年度で27回を迎え、浦上養育院、マリア園、明星園の子供たちを招待していましたが、早朝よりの雨のため、ハタ上

げ大会としては中止となってしまいました。

ここで青年経営者会のメンバーにて再度、ハタ上げ大会の意義について協議し、ハタ上げ大会そのもの以上に、一年に一回楽しみにしている園の子供たちに楽しんでもらう為の大会であるとの結論に至りました。

多くの人の助けもあり、急ではありましたが長崎ペンギン水族館の皆様にご協力いただき、昼からではありましたがペンギンとのふれあい大会(見学会)の開催に至りました。

園の子供たちと楽しそうに会員の方たちも一緒に水族館内を見学している姿や、外の広場にて実際にペンギンにさわってふれあうこともでき楽しむことができました。

また、水族館内にて豚汁とお弁当をみんなで一緒に食べていただき、皆さんとても美味しいと



言って下さいました。

見学会の最後に、園の子供たちの代表の子から、「最初ハタ上げ大会が中止と聞き、凄くがっかりしましたが、ペンギン水族館の見学会という形で開催していただき本当にありがとうございました。」との御礼のことばをいただきました。

今回は初めての挑戦で、いろいろな問題・課題が出てくる中で、嬉しそうにしている子供たちの笑顔を見ることができ、来年も是非開催したいと思いました。

最後になりましたがご協力いただいた長崎ペンギン水族館の方々や多くの皆様に心から御礼申し上げます。

実行委員長 飛田 精一

参加者：西村繁彦・山口善也・吉川憂也・

橋本裕次郎・山口憲男・井口達宣・

川口圭典・鹿島啓介・大久保誠・

笹田健一・飛田精一

園児57名・先生13名

(文責 飛田 精一)

## 第2回中同協社員教育委員会参加報告

共育委員長 土井幸喜

日時：3月13日（水）

13：00～17：00

場所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

### ＜第一部＞同友会がめざす企業づくりと社員教育を考える。

1. 中小企業における働きがい、人間的成長とは。「働きがい向上に関するアンケート」の結果報告。大阪市立大学都市研究プラザ 特別研究員 三浦純一氏より

#### ①何故働きがいの調査をしたのか

中小企業における地域貢献は、経済的に語られることが多い。しかし、中小企業こそが人間的成長の場を提供している。という仮説検証において実施した。

#### 1－2. 調査概要

「働きがいの向上に関するアンケート」

大阪同友会大東支部と三浦氏が共同実施。8社127人分の調査票を回収&分析。業種は8社中6社がものづくり関係。すべてが50人未満の中小企業。

#### 1－3. 主な結果報告

①三人に一人が働きがいを「感じる」。そして、今の会社で働き続けたいと思わない人は、働きがいを感じていない。

②年齢が上がると働きがいが減る傾向にある。

③いい対人関係、責任ある仕事を任される、正當に評価される。ということが働きがいに密接に関係する。

④「いい対人関係」はどの年齢層にも上位であり共通している。

⑤今の職場で学んでいる・いないで働きがいは両極化。

⑥「学べていない」人は、働きがいを「あまり感じない」「感じない」と答える傾向が強い。ということは職場にどんな問題があるか。

- ・研修や会議が不足している。
- ・手本になる人がいない。
- ・チームワークに問題がある。
- ・本人の受け止め方に問題がある。

⑦仕事の相談ができる人の存在が大きい。

⑧同僚とのチームワークは決定的要因であり、チームワークの悪さは退社要因になる。

⑨他社社員との交流は、働きがいに大きく影響する。

⑩経営計画を知ると働きがいが増し、意見を出す機会があるだけでも働きがいはより高まる傾向にある。

⑪経済的基盤において世間並みの水準がないと働きがいは著しく低下する。

⑫主体的な居場所の確保。

- ・職場集団の中
- ・仕事自身の中
- ・経営計画の中
- ・外部交流の中

自分が望み、自分を必要とする関係の中で、人間は学び・成長していく。

### 2. 中同協共同求人委員会の取り組みと社員教育委員会への期待

中同協共同求人委員長 小暮恭一氏

#### 2－1. 自社と共同求人活動

①サラリーマン時代、人は使い捨てであり、社長の個人会社であった。よって、自分が起業したらよい会社を創りたい。という思いで同友会に入会。

- ・会社を私物化しない。
- ・従業員をパートナーと考える。
- ・命がけで経営に取り組む
- ・人材育成に力を入れる。

この4つを決意書として作成し、自分への戒めとして成文化した。知ると知らせる行為は理解しなければならない。よって経営指針の成文化は不可欠である。

②新卒採用は継続することに意義がある。

#### 2－2. 中同協共同求人委員会の取り組み

①人を活かす経営。3つの委員会との連携。

働くこと・中小企業の役割と魅力を伝える。（セミナー、講演、インターンシップ、ディスカッション）

#### 2－3. 社員教育委員会への期待

- ・人材の確保と育成。どう育てていくか。
- ・採用と教育は連携していかなければならない。
- ・子供たちにどう伝えていくか。若者が夢を持てる。
- ・働くことを中心に魅力を伝える。働くことの大切さ、地域における価値。

### 3. グループ討議

- ①社員にとって「働きがい」があるのはどんな企業か。
- ②若者を採用し育てることのできる企業をどうつくるか。

#### 〈所感〉

同協社員共育委員会初めての参加でした。全国から約30名の方が集まり、同友会が目指す社員共育委員会のあり方を学ぶいい機会でした。やはり三浦純一氏のアンケートに基づく「働きがい」の調査報告は大変興味深い内容でした。一番印象に残ったのは「経営計画を知ると働きがいが増し、意見を出す機会があるだけでも働きがいはより高

まる傾向にある」という結果です。同友会の経営指針づくりの大切さを実感すると同時に、社員さんを巻き込んだ指針づくりが今後必要になってくるものと思いました。

第二部では、共同求人委員会の取り組みなど他県の進んだ活動を拝聴し参考になるものばかりでした。ただ、共同求人を開催すればいいというだけではなく、同友会の理念をしっかりと根付かせ取り組んでいかなければならないということも理解できました。

最後に、懇親会にも参加させていただき、社員共育に取り組むみなさんの熱い話も聞けて刺激ある時間でした。ありがとうございました。

## 新入会員・交代・復会の皆さんです

(敬称略)

### < 3 月入会 >

|         |                                                                           |                                                                                    |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎 (浦上地区会)                                                                |  |
| 氏 名     | たかえ きいちろう<br>高江 喜一郎                                                       |                                                                                    |
| 企 業 名   | たかえ                                                                       |                                                                                    |
| 役 職 名   | 代表者                                                                       |                                                                                    |
| 企 業 住 所 | 〒852-8011<br>長崎市稲佐町9-6                                                    |                                                                                    |
| T E L   | 095-861-2486                                                              |                                                                                    |
| F A X   | 095-861-2486                                                              |                                                                                    |
| 業 種     | 婦人服小売業                                                                    |                                                                                    |
| 企 業 P R | 各種カジュアルな婦人服をそろえ、お客様に合ったお洋服をお選びいたします。稲佐店、万屋町店 Very、お近くに来られたらぜひ一度お立ち寄りください。 |                                                                                    |
| スポンサー   | 西山 展司                                                                     |                                                                                    |

|         |                                                                                                               |                                                                                      |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎 (浦上地区会)                                                                                                    |  |
| 氏 名     | まつやま しげあき<br>松山 繁道                                                                                            |                                                                                      |
| 企 業 名   | (株) トータル                                                                                                      |                                                                                      |
| 役 職 名   | 専務取締役                                                                                                         |                                                                                      |
| 企 業 住 所 | 〒854-0001<br>諫早市福田町2-35                                                                                       |                                                                                      |
| T E L   | 0957-22-8300                                                                                                  |                                                                                      |
| F A X   | 0957-22-8280                                                                                                  |                                                                                      |
| 業 種     | 生損保代理店業                                                                                                       |                                                                                      |
| 企 業 P R | お客様との価値観の共有。「ありがとう」「この代理店を選んで良かった」「この人に出会って良かった」と思われる「人」作り。「社内環境」作り。社員一人ひとりがお客様へ感動を提供できるよう日々、自己革新にチャレンジし続けます。 |                                                                                      |
| スポンサー   | 町田 貴代人                                                                                                        |                                                                                      |

|         |                                                                                                                                                                                            |                                                                                     |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎 (出島地区会)                                                                                                                                                                                 |  |
| 氏 名     | いわもと けんこ<br>岩本 賢吾                                                                                                                                                                          |                                                                                     |
| 企 業 名   | アニマフォトグラフ                                                                                                                                                                                  |                                                                                     |
| 役 職 名   | 代表者                                                                                                                                                                                        |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒850-0027<br>長崎市桶屋町50-1<br>杉本ビル2F-B                                                                                                                                                        |                                                                                     |
| T E L   | 095-826-7701                                                                                                                                                                               |                                                                                     |
| F A X   | 095-826-7701                                                                                                                                                                               |                                                                                     |
| 業 種     | 写真撮影業                                                                                                                                                                                      |                                                                                     |
| 企 業 P R | 開業して5年目。写真撮影業として、婚礼写真・広告写真・ポートレートなど、その他ジャンルを問わず撮影します。婚礼写真に関しては、自己開発のアルバム「anima」に代表されるように、素材や質感にこだわり全てをハンドメイドで製作される商品で、県内・県外を問わず他に例を見ない商品作りを行っています。今後、デジタル全盛の今だからこそ、フィルムを使った撮影を再考しようと計画中です。 |                                                                                     |
| スポンサー   | 福井 義憲                                                                                                                                                                                      |                                                                                     |

|         |                                          |                                                                                       |
|---------|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 大 村                                      |  |
| 氏 名     | のうつか よしひさ<br>能塚 由久                       |                                                                                       |
| 企 業 名   | (株) イケダ                                  |                                                                                       |
| 役 職 名   | 取締役社長                                    |                                                                                       |
| 企 業 住 所 | 〒856-0844<br>大村市溝陸町408-52                |                                                                                       |
| T E L   | 0957-53-0184                             |                                                                                       |
| F A X   | 0957-53-0405                             |                                                                                       |
| 業 種     | リサイクル&廃棄物処理業                             |                                                                                       |
| 企 業 P R | 県央を中心に、廃棄物の収集運搬と処分や資源ゴミのリサイクルに取り組んでおります。 |                                                                                       |
| スポンサー   | 徳田 信義                                    |                                                                                       |

+++++

|         |                                                                     |                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 島 原                                                                 |  |
| 氏 名     | うめざわ ひろし<br>梅澤 浩                                                    |                                                                                   |
| 企 業 名   | 梅澤社会保険労務士事務所                                                        |                                                                                   |
| 役 職 名   | 所長                                                                  |                                                                                   |
| 企 業 住 所 | 〒855-0066<br>島原市柿の木町<br>3965-4                                      |                                                                                   |
| T E L   | 0957-63-0520                                                        |                                                                                   |
| F A X   | 0957-63-0520                                                        |                                                                                   |
| 業 種     | 社会保険労務士                                                             |                                                                                   |
| 企 業 P R | 社会・労働保険手続代行、就業規則作成、賃金制度設計、助成金申請、労務管理に関する相談等の業務を行っています。どうぞ気軽にご相談下さい。 |                                                                                   |
| スポンサー   | 上田 五月男                                                              |                                                                                   |

|         |                                                  |                                                                                   |
|---------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 島 原                                              |  |
| 氏 名     | すえなが まり<br>末永 真理                                 |                                                                                   |
| 企 業 名   | プレミアムラウンジ ReVe                                   |                                                                                   |
| 役 職 名   | 代表者                                              |                                                                                   |
| 企 業 住 所 | 〒855-0801<br>島原市高島1丁目445-8                       |                                                                                   |
| T E L   | 090-2582-3177                                    |                                                                                   |
| F A X   |                                                  |                                                                                   |
| 業 種     | 飲食業                                              |                                                                                   |
| 企 業 P R | 20代から30代のスタッフで明るく元気なお店です。店の名前どおり、夢と希望を語り合えるお店です！ |                                                                                   |
| スポンサー   | 上田 五月男                                           |                                                                                   |

|         |                                                          |                                                                                     |
|---------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 佐世保                                                      |  |
| 氏 名     | まつもと せい<br>松本 聖                                          |                                                                                     |
| 企 業 名   | (有) トモハウス                                                |                                                                                     |
| 役 職 名   | 役員                                                       |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒857-1231<br>佐世保市船越町785-3                                |                                                                                     |
| T E L   | 0956-28-4720                                             |                                                                                     |
| F A X   | 0956-28-4590                                             |                                                                                     |
| 業 種     | 建築業                                                      |                                                                                     |
| 企 業 P R | デザイン、設計、施工管理までお客様と共にデザイン住宅を取り扱っています。大事な住宅はぜひ当社までご相談ください。 |                                                                                     |
| スポンサー   | 中島 城宣                                                    |                                                                                     |

|         |                                    |                                                                                     |
|---------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 佐世保                                |  |
| 氏 名     | ながよし ひでゆき<br>永吉 秀行                 |                                                                                     |
| 企 業 名   | アフラック代理店                           |                                                                                     |
| 役 職 名   |                                    |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒858-0921<br>佐世保市長坂町713-11         |                                                                                     |
| T E L   | 090-5081-8775                      |                                                                                     |
| F A X   | 0956-28-4334                       |                                                                                     |
| 業 種     | 保険代理店                              |                                                                                     |
| 企 業 P R | 役立つ情報提供をお客様にお届けしています。安心の保険選びは当社まで。 |                                                                                     |
| スポンサー   | 今林 京子                              |                                                                                     |

|         |                                                                                                                      |                                                                                     |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 佐世保                                                                                                                  |  |
| 氏 名     | ふじもと なおみ<br>藤本 尚美                                                                                                    |                                                                                     |
| 企 業 名   | (有) セルフサポート                                                                                                          |                                                                                     |
| 役 職 名   | 代表取締役                                                                                                                |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒857-0142<br>佐世保市野中町500-2                                                                                            |                                                                                     |
| T E L   | 0956-42-8183                                                                                                         |                                                                                     |
| F A X   | 0956-47-7401                                                                                                         |                                                                                     |
| 業 種     | 老人福祉・介護事業                                                                                                            |                                                                                     |
| 企 業 P R | 生きがい人生を送りたい夢。健康でも元気に暮らしたい夢。いつまでも自分らしくありたい夢「3つの夢」を叶えるお手伝いをさせていただきます。利用者様ご家族様に安全安心安らぎを提供できる介護サービスを目指して地域と密着した施設を目指します。 |                                                                                     |
| スポンサー   | 横石 たまき                                                                                                               |                                                                                     |

|         |                                                              |                                                                                       |
|---------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 佐世保                                                          |  |
| 氏 名     | まつお たかし<br>松尾 隆史                                             |                                                                                       |
| 企 業 名   | (有) 松尾鉄筋工業                                                   |                                                                                       |
| 役 職 名   | 代表取締役                                                        |                                                                                       |
| 企 業 住 所 | 〒857-0813<br>佐世保市小佐世保町2-9                                    |                                                                                       |
| T E L   | 0956-23-0951                                                 |                                                                                       |
| F A X   | 0956-22-1425                                                 |                                                                                       |
| 業 種     | 鉄筋工事業                                                        |                                                                                       |
| 企 業 P R | 佐世保で30年、経験をもとに培った安全と安心、信頼の技術で確実な施工を行ないます。各種鉄筋工事関係はぜひご相談ください。 |                                                                                       |
| スポンサー   | 川下 眞文                                                        |                                                                                       |



**酒彩館**  
酒の専門店  
九州一の販売システム  
酒の一斗 吉井店 TEL 0956-64-4747  
佐世保市吉井町立石272-1

地産地消費品  
開発しました



高齢者介護ホーム  
茶話の里  
入居者募集中  
TEL・FAX 0956-64-2424  
佐世保市吉井町田原73-6

池野会員（北松浦支部）

ひと月2,000円で  
**延命茶**  
ふあんめいちゃ

健康に自信！  
発売から30年  
売れ続ける理由があります。

動画をご覧ください  
みやび園 検索

0120-50-1388  
株式会社 みやび園 長崎市京泊1丁目1-42

花粉症の方 お試し下さい！

太田会員（長崎支部 出島地区会）

## < 交 代 >

|         |                                                                           |                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎（浦上地区会）                                                                 |  |
| 氏 名     | の が み ひろき<br>野上 大樹                                                        |                                                                                   |
| 企 業 名   | （株）丸 野                                                                    |                                                                                   |
| 役 職 名   | 経営企画室 係長                                                                  |                                                                                   |
| 企 業 住 所 | 〒851-0134<br>長崎市田中町655番地1                                                 |                                                                                   |
| T E L   | 095-839-2131                                                              |                                                                                   |
| F A X   | 095-839-9689                                                              |                                                                                   |
| 業 種     | 運輸・倉庫業                                                                    |                                                                                   |
| 企 業 P R | 物流の改善・効率化を常に提案します。<br>グループ会社：丸野興産（株）、（有）丸野バンライン、<br>アート引越センター長崎（株）（F C長崎） |                                                                                   |
| スポンサー   | 松尾 慶一                                                                     |                                                                                   |

## < 復 会 >

|         |                                        |                                                                                     |
|---------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎（浦上地区会）                              |  |
| 氏 名     | さ か い せいち<br>坂井 勢一                     |                                                                                     |
| 企 業 名   | （有）豊栄商会                                |                                                                                     |
| 役 職 名   | 代表取締役                                  |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒851-2106<br>西彼杵郡時津町左底郷<br>1279-9      |                                                                                     |
| T E L   | 095-886-8125                           |                                                                                     |
| F A X   | 095-886-8126                           |                                                                                     |
| 業 種     | 廃棄物処理業                                 |                                                                                     |
| 企 業 P R | 事業所のゴミから、建設廃材や引越し後の荒ゴミなど、<br>取り扱っています。 |                                                                                     |
| スポンサー   | 池田 義徳                                  |                                                                                     |



### 「春なんだー」

満開の桜が、あっという間に散って4月になりました。毎年の光景ですが、入学式までもって欲しいですね。

この時期、我が家の猫は、季節がら艶っぽくなるんですが、今年は桜が咲く前に落ち着きました。11歳ともなると猫も落ち着くんだと何となく納得してしまう自分も大部落ち着いています。

春に向けてチューリップを4球植えたのですが、芽が6本出て花は4つ。勘定が合いません。土の中では、何が起きているのか？あと2本は、これからどんなチューリップになっていくのか？もしかしたら、チューリップ以外の花が咲くのではと、日々水やりしている朝であります。

さて、巷では「一票の格差」や「TTP」や「PM2.5」やら賑やかですが、「一票の格差」は、仕切があるから難しいので、仕切を取っ払って「日本区」一つにして、上位100名が当選、抽選で各県の代表となり知らない土地にも滅私奉公するとか、「TTP」は、

立場の違いから損得があるので政府は得な側にしか立たないので、得な側の企業は海外に本社を移してしまえとか、11PMなら昔懐かしくドキドキしたもののだが「PM2.5」なんて、天から降ってくるものは、防ぎようがないから、騒いでもしょうがねえ。日本海側に巨大扇風機でも作って吹き返せなんて、役にも立たない妄想を頭に描きつつ老猫と昼寝する。あー、やっぱり春なんだなあー。

(by フクスケ)



## 折込サービス開始！

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送

は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

**A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

委員長 松永 いづみ



「がんばらんば塾」を2011年度より「半日勉強コース」を何回か開催してきた上で、昨年の10月より経営・労務委員会のメンバーと2012年度のメインテーマである県主体で行う1泊2日のロングタイム研修の打ち合わせをしました。

3月2～3日に開催した第1回「経営指針策定セミナー」は、参加された会員の声（アンケート含む）を聞けば大成功に終わったのではないかと感じています。

その研修のために昨年夏、福岡での2泊3日の「経営指針作成セミナー」に委員長やメンバーの何人かが参加してきましたが、とても内容の濃い研修会であってとても勉強になり、感動さえ覚えました。

しかし、この濃い内容をどのように長崎で開催しようかと当面悩みましたが、まずは受講者側も委員会メンバー両方にも負担（時間とコスト）にならない方向を考え、この研修会自体が細く長く開催できる1泊2日で行うことを決めさせてもらいました。

第1回目は3月開催（委員長は税理士で繁忙期、メンバーの中にも仕事の繁忙期でした・・・）場所はいこいの村、講師の方は3名、諫早支部（株）昭和堂の永江正澄さん、福岡同友会の井上桂樹さん、北松浦支部の松永いづみ。

研修内容としての大まかな流れは、下記の内容です。

①初日の午前中、挨拶スタート（声を発してからのおきちんとした礼）の塾形式で全員のぞみました。永江会員より、経営理念の大切さの再確認と（理念・方針・計画）自社紹介や社員教育の内容など多くの話をさせていただきました。

②初日の午後からは、福岡同友会の若手経営者井上会員より自社の強み・弱みSWOT分析の説明と事例を紹介してもらい、実体験に基づいたお話と資料をいただきました。初日は参加者全員が、各々お二人の話に感動を受け勉強し続けていくことの必要性を深く思ったようです。

③初日は夕方6時くらいで一旦研修終了として、夜は異業種交流会にて各自にぎやかに雑談してその日一日を終わりました。

④翌日朝8時30分からのスタート。内容は、「損益計算書・貸借対照表の見方」「大切な部分の財務分析」「税金計算のしくみ」「ミニテスト」・・・と勉強する内容が数多くあり、委員長は最初みんながついてこれるか心配していましたが・・・委員長自ら説明をした後直ぐに問題を解いてもらうという形式で行ったのが功を制したのか参加者全員の理解力が早く一安心しました。

⑤二日目の昼以降は、グループディスカッション形式で、学びと自社の問題点などを話し合う時間をとりました。

2013年度も少し内容変えながらこのような半日コースと1泊2日コースの勉強会を1～2回取り入れていこうかと考えております。

次年度の委員長3年目の私の役割は、新しい仲間と再挑戦をするとともにできる限りマニュアルを作成しながら次の委員長へバトンを渡していく年度にもなります。

最後に無事に終わったことに対して、協力していただいた県の委員会メンバーや福岡同友会の仲間の方々へ感謝したいと思います。

#### <メンバー紹介>

松田 卓さん  
吉澤 健さん  
生野 信一郎さん  
橋口 久さん  
東 浩一郎さん  
吉永 満也さん  
出口 美智代さん  
峰事務局員  
山田事務局長  
松永 いづみ

## ダイヤモンドクラブ例会開催！

桜満開の3月23日（土） 岩崎さん自慢のお店プリマヴェーラで1年ぶりにダイヤモンドクラブ例会が開催されました。

「久しぶり!」「元気よかったね!？」等々次第に集う面々。島田会長のあいさつ、泉さんによる会務報告の後は、松尾代表理事の乾杯で懇親交流会へと続きました。

品川さんの司会は天下一品、その盛り上げはお見事で、「永年司会」に就任したとかしないとか……。懇親交流会の中では、岩崎さん（40周年記念事業実行委員長）がこの1年の振り返りを、また、松田さん（五島支部設置委員長）が3月26日（火）の「同友会を知る会」の告知を含め、この間の五島支部

設立に向けた取り組みについて非常に熱く語られました。

ダイヤモンドクラブは、会暦20年以上の方と代表理事経験者並びに現代表理事 42名の皆さんです。長崎同友会の更なる発展のために、今後も持てる知恵と経験を大いに発揮していこう！と締めくくられました。



（文責 事務局 山田）

## 会員活躍

長崎新聞 2013年

### ソメイヨシノを植樹

県中小企業家同友会

40周年事業で

ふかえ桜パーク

県内の中小企業の経営者らでつくる県中小企業家同友会（松尾慶一代表理事）は9日、雲仙・普賢岳の麓にある南島原市深江町のふかえ桜パークに、40本のソメイヨシノの苗木を植えた。

同会は1972年11月に設立。約10年前の30周年記念事業では噴火災害からの復興を祈念し、同パーク内にヤエザクラ150本を植樹した。今回は40

化に貢献しようとして実施した。県内各地の会員など約50人が参加。スコップなどを手に苗木を丁寧に植えていった。（角村亮一）

同会は1972年11月に設立。約10年前の30周年記念事業では噴火災害からの復興を祈念し、同パーク内にヤエザクラ150本を植樹した。今回は40



ソメイヨシノの苗木を植える会員 南島原市、ふかえ桜パーク

## ホームページのバナー広告を募集しています！

●お問い合わせ●  
事務局まで  
（月500円です）

～これからのくらしの器～  
白山陶器

九州ゴルフ会員権取引：ホームページ制作  
アソシエイトカンパニー

長崎 梁町  
なかしま

長崎のお漬物  
ひまわり

勝茶家  
株式会社 岩崎商事

広告のアクセス  
テレビCM・チラシ・ホームページ

松永いづみ  
税理士・行政書士事務所

# 広告募集

< 4cm x 9cm >

|           |     |                 |
|-----------|-----|-----------------|
| 複数月<br>割引 | 6ヶ月 | 12,000 → 10,000 |
|           | 4ヶ月 | 8,000 → 7,000   |
|           | 3ヶ月 | 6,000 → 5,000   |

## 徳勝・わたらい法律事務所

受付 平日 午前9時～午後6時

☎ 22-5622 (0956)

ケータイからは



即日相談可能！  
土日の相談可能！  
まずは、お電話下さい。

〒857-0871 佐世保市本島町2番5号 興徳ビル佐世保2階

弁護士 徳勝 仁 弁護士 渡会祐三 交通事故、貸金、相続、離婚、その他民事事件、会社顧問、事業再建、その他の企業法務、企業事件、過払請求、任意整理、個人再生、自己破産などの多量債務問題、その他民事・刑事全般を扱う総合法律事務所です。お気軽にご相談下さい。

徳勝会員（佐世保支部）



## 理事会報告

2013年4月理事会 議事録 抜粋  
4月11日(木) プライムステージ

### 仲間づくりについて

- 1) 入会・復会・退会・交代取り下げの承認について  
入会3名、復会1名、退会3名、交代の取り下げ1名を承認

### 報告・連絡事項

- 1) 3月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について
- 2) 定時総会(4月20日)登録状況等について  
＜確定済＞  
・会場－ホテルニュー長崎(JR長崎駅隣)  
・会費－2,000円  
・タイムスケジュール－15時開会、16時～記念講演、  
17時45分～懇親交流会  
・動員目標－200名(長崎90、大村22、諫早23、  
島原15、佐世保38、北松浦12)  
・交通費補助(一人当たり)－500円(大村・諫早)、  
1,000円(島原・佐世保・北松浦)  
  
「記念講演」－大阪同友会 藤原 義春氏((株)藤原電子工業)  
・テーマ「社員と共に活力ある企業経営と地域の活性化を」  
～気づきから始まる経営改革！先ずは社長から～
- 3) 例会について(更なる例会の充実をめざして)  
－尾崎例会委員長  
・来期も早日早目の例会づくりに取り組んで頂きます様 よろしくお願い致します。

- 4) 五島支部設立「同友会を知る会」(3月26日(火))開催報告  
－松田支部設置委員長  
現地の参加者は当日キャンセルと飛び込みで結果的にプラスマイナス0の21名。  
今、参加頂いた方から委員が手分けして感想を聞き取りしています。  
これまで成功談ばかりで、失敗談は聞いたことがなかったと感動されていました。  
翌日 遅い便で戻るメンバーは二手に分かれ企業訪問を行って頂きました。  
報告者の宮田支部長はじめ委員の皆様、またご紹介頂いた皆様本当にありがとうございました。

- 5) 中同協関係の件  
①主要行事の紹介と参加促進  
理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)  
5月23・24日(木・金)  
第7回 九州・沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会／長崎  
6月4日(火)  
中同協 第4回幹事会／東京／松尾代表理事  
6月13・14日(木・金)  
第16回 女性経営者全国交流会／大阪  
6月21日(金)  
第2回 九州・沖縄ブロック憲章・条例学習会／福岡  
7月11・12日(木・金)  
中同協 第45回 定時総会／宮崎  
7月12日(金)  
中同協 第1回 幹事会／宮崎

- 9月12・13日(木・金)  
第41回 青年経営者全国交流会(略称：青全交)／東京  
9月26・27日(木・金)  
第3回 経営労働問題全国交流会／徳島  
10月3・4日(木・金)  
第7回 中小企業地球環境問題交流会／熊本  
10月24・25日(木・金)  
第17回 障害者問題全国交流会／神奈川  
11月7・8日(木・金)  
第26回 社員教育活動全国研修交流会／秋田  
2014年2月13・14日  
第44回 中小企業問題全国研究集会(略称：全研)／広島

- ・6月21日(金)福岡での九州・沖縄ブロック憲章・条例学習会で大村支部 宮田さん、富永さんに報告して頂く事になりました。中同協ブロック行事です。多くの方のご参加よろしくお願いします。

### 協議・承認事項

- 1) 来期に向けて  
①賀詞交歓会(県行事)－松尾代表理事－承認  
提案内容－来年1月17日(金)の開催を提案します。  
②経営フォーラムに関して－町田経営フォーラム担当理事・敷島支部長・(補足)上田理事  
＜現在までの決定事項＞  
・実行委員長 横田耕詞会員(有)ワイエヌコンサル・副実行委員長 横田健会員(横田建設)  
・会場 HOTELシーサイド島原

- ＜今回提案＞－承認(予算案は来月提案して頂きます。)  
・開催日11月8日(金)・目標250名・3分科会  
・記念講演 講師 (株)DDR 安藤竜二氏

### 【企業概要】

株式会社DDR 代表者：安藤竜二  
設立：2006/10/11 資本金：380,000円  
愛知県岡崎市伝馬通2-8 サカエヤビル3F  
URL: <http://www.ldr38.com>

### 会社説明

愛知三河岡崎を拠点に地域から中小企業だから出来るブランド作りを行います。  
全国のこだわり企業を世界へ発信する。「やれないのではなく、やらないだけ」  
株式会社DDRは熱い思いを胸に秘め頑張る続ける集団です。

- ③企業連携推進協議会準備室(開設内定)からの提案について  
－内山準備室長(内定)(欠席のため代理・山田事務局長)－承認  
11月15日(金)に畑野 吉雄氏の講演を企画致しました。  
(・中同協 企業連携推進連絡会代表 ・REES(東日本大震災復興支援委員会)副会長  
・大阪同友会 顧問 ・株式会社 中央電機計器製作所 会長)
- 2) 決算・予算案 承認について－吉田財務委員長－承認  
・吉田委員長に詳細な説明をして頂きました。

### ●会社住所等変更

北川 亮 会員(長崎支部・浦上地区会)

新住所：〒852-8027  
長崎市城山台2丁目26-30

新電話番号：095-861-6579

新FAX番号：095-861-6579

### ●会社住所変更

笹田 健一 会員(長崎支部・浦上地区会)

新住所：〒852-2126  
西彼杵郡長与町吉無田郷1636-1-C3

### ●社名・役職名変更

浦川 捷二 会員(長崎支部・出島地区会)

新社名：(株)今日堂薬局

新役職名：代表取締役

### 会 員 数 (4月11日現在)

|         | 期 首 | 現 在 |
|---------|-----|-----|
| 長 崎     | 186 | 190 |
| ( 浦 上 ) | 101 | 104 |
| ( 出 島 ) | 85  | 86  |
| 大 村     | 48  | 48  |
| 諫 早     | 52  | 53  |
| 島 原     | 34  | 34  |
| 佐 世 保   | 86  | 87  |
| 北 松 浦   | 30  | 30  |
| 合 計     | 436 | 442 |

